

安全・安心構築へ力を結集

石巻市防災士協議会が発足

県内の市町村単位で初の防災士組織となる「石巻市防災士協議会」の設立総会が5月26日、防災センターで開かれました。防災士のスキルアップや情報交流が図られ、地域の防災力が一層強まることが期待されます。

設立総会には会員と関係者ら約70人が出席。防災知識・技能向上のための研修会やその普及啓発活動を盛り込んだ本年度事業計画などを決め、会長には設立準備委員会の井上達彦委員長を選出しました。

総会後にはNPO法人防災士会みやぎの児玉敏幸副理事長が記念講演。防災士の組織化のメリットなどを解説し、「防災知識・技術をどんどん周りに広め、頼れる防災士になってください」と激励しました。

協議会の会員は157人。建設コンサルタントの中里俊之さんは「将来は中央から講師を招いたスキルアップセミナーなどを石巻で開催してもらいたいです」と要望しました。

防災士とは

NPO法人日本防災士機構が認定する民間資格で、阪神・淡路大震災を教訓として平成15年度に制度化されました。通常は災害発生に備えて行政や地域と協力して減災に向けた活動に取り組み、災害発生時には住民と連携した救援活動を行うなど地域防災のリーダー役を果たします。

石巻市は、26年度から独自に防災士養成講座を開催し、30年度までに291人が資格を取得しました。このほかに、個人で資格を取得した人も151人います。



防災知識・技能向上に向けた研修会などの事業計画を決めた設立総会



防災士組織の活動メリットなどを学んだ記念講演

石巻市防災士協議会会長に聞きました

「他市町村の組織化モデルに」



井上 達彦さん(67)

一協議会の設立経緯を教えてください。

市内の防災士対象の意識調査で、「資格をどう活用したらいいかわからない」「知名度がなく、思い通り活動できない」という意見や「防災士同士のつながりを持ちたい」という方がたくさんいました。私は平成27年度に資格を取得しましたが、当時から同じ思いを抱いており、市に組織づくりを要望し続け、3年がかりで設立が実現しました。

— どのような協議会を目指しますか。

市内の防災士は「東日本大震災の惨事を二度と繰り返してはならない」という思いが根底にあり、「地域に恩返しをしたい」とも願っています。その熱意に応えたいです。幼稚園児や小学生などの震災を知らない子どもたちも含めて、市民の防災意識をより高めるお手伝いもしていきます。

— 県内にも多くの防災士の方がいます。

石巻市協議会が一定の活動成果を出すことにより、県内の他市町村でも組織化が進み、防災士の活動の輪を広げられたらうれしいです。

図 危機対策課(内線4313)

水害・土砂災害の危険性が高まった場合の避難情報に、新たな「警戒レベル」が追加されました

昨年大きな被害をもたらした、西日本豪雨を受け、皆さんが適切な避難行動および「自らの命は自らが守る」の意識を醸成するため、5段階の警戒レベルが新たに追加されました。これまで自治体が発令していた避難情報の「避難指示(緊急)」「避難勧告」および「避難準備・高齢者等避難開始」は従来のとおり発令し、その発令に合わせて警戒レベルを発令します。

気象庁からは、警戒レベル相当情報が発表されますが、これらは、避難行動を判断する参考となるものです。避難を促す情報は、自治体から発令する警戒レベルおよび避難勧告などの避難情報です。詳しくは、内閣府防災情報のページをご覧ください。



内閣府
防災情報のページ

新たに発表される警戒レベル

警戒レベル (発令機関)	避難情報	伝達文の例	住民の行動
警戒レベル5 (自治体)	災害発生情報 * 災害発生時発令	「こちらは、防災石巻広報です」 「〇〇地区(洪水、土砂災害等)に対する警戒レベル5、災害発生情報です」 * 把握している範囲での被害状況を伝える。	命を守るための 最善の行動
警戒レベル4 (自治体)	避難指示(緊急)	「こちらは、防災石巻広報です」 * これまでの経緯および状況を伝える。(浸水状況、川の水位、土砂災害の危険度等) 「〇〇時〇〇分に〇〇地区に対して警戒レベル4、避難指示を発令しました」 「直ちに避難してください」	全員避難 (避難していない住民は速やかに避難)
	避難勧告	「こちらは、防災石巻広報です」 * これまでの経緯および状況を伝える。(浸水状況、川の水位、土砂災害の危険度等) 「〇〇時〇〇分に〇〇地区に対して警戒レベル4、避難勧告を発令しました」 「住民の皆さんは、直ちに避難してください」 「避難先は〇〇です」	全員避難
警戒レベル3 (自治体)	避難準備・ 高齢者等避難開始	「こちらは、防災石巻広報です」 * 今後の推移および状況を伝える。 「〇〇時〇〇分に〇〇地区に対して警戒レベル3、避難準備・高齢者等避難開始を発令しました」	高齢者等は避難 その他の住民は 避難準備
警戒レベル2	各注意報	気象庁等からの警戒を促す、警戒レベルの相当情報です。市町村からの発表はありません。	避難への心構え および準備
警戒レベル1	早期注意情報		

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報
氾濫発生情報・大雨特別警戒情報など

警戒レベル4相当情報
氾濫危険情報・土砂災害警戒情報など

警戒レベル3相当情報
氾濫危険情報・土砂災害警戒情報など

住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

国土交通省、気象庁、都道府県が発表

※ 今回実施される警戒レベルは、地震および津波での避難情報では発表されません。

図 危機対策課(内線4154)

危険度